

令和4年度第2回区政会議(全体会議)で出された主なご意見と区役所の対応・考え方

番号	意見	当日の回答	担当課
全体会議			
1	交流会館の位置づけや建設に至った経緯の区民への周知が、このエリアの交流人口、関係人口の増加に関わるのではないかと思う。	交流会館は、45年間にわたる港地区復興土地区画整理事業の記念事業として実施するものであり、平成28年3月に区民の参画のもと基本構想を策定し、基本コンセプトを定めてきた。この間、建設工事の実施に関する調整を進めてきたが、運営面については、これまで区民の皆さんとお話する機会があまりなかったことから、今後、区民の方々と交流会館の運営のあり方についてしっかりと議論、検討してまいります。	総務課 (総合政策・ 公民地域連携)
2	八幡屋公園の活性化の取り組みについて、現場レベルでは一所懸命取り組んでいるようだが、指定管理者の上層部の考えが見えてこない。指定管理者の施策の見える化を区役所が主導して進められてはどうか。	八幡屋公園については、指定管理者制度を導入したメリットは、公園の柔軟な活用が図ることができることであり、全国的にも、公園の利活用は柔軟にできる方向に進んでいると思うので、区役所としても八幡屋公園を中心としたエリアを活性化していく立場で利用者と管理者の間をつなげるような取組を進めていければと考えています。	
3	昨今、国際情勢が変わる中で、物価の高騰や為替の影響によってインバウンドが増加するなどがあると思うが、クルーズ船等の受け入れとかをまち全体で考えていってはどうか。また、SNS等で世界がコンパクトになっており、経済が世界と連携するようになっているので、マクロ環境分析という形で築港・天保山まちづくり計画の改定なども必要ではないか。	区役所としては、地域のコミュニティ形成や安心・安全のまちづくりなど、住民に密着した部分での施策の役割が基本にあるが、一方で、世界的な潮流とか経済状況なども把握した取組みも重要であると認識している。今後、マクロ的な視点も持ちながら地域の活性化の取組を進めていければと考えています。	